

論文要旨

経営学研究科 経営学専攻 修士課程

人材・組織マネジメントコース

柳澤 奉享

右腕人材が会社員経営者の事業戦略実行に与える影響

－X グループの事業部長の事例研究－

企業における事業部長（以下、GM：General Manager）は、事業戦略の実行、すなわち全社的な意思決定や組織運営を担う重要なポジションである。しかし、その業務の複雑さと負担の大きさから、GM がその役割を効果的に遂行するには、支援的な役割を担う「右腕人材」の存在が鍵となる。本研究は、右腕人材の役割行動が GM に提供する支援とその影響を明らかにすることを目的とする。

X グループの GM11 名を対象にインタビュー調査を実施した結果、右腕人材には以下の 3 つの特徴的な役割行動が確認された。(1) GM との日常的な対話を通じた情報共有と意思決定支援、(2) GM の業務を補完・補強する専門的な貢献、(3) GM への諫言や助言を通じた新たな視点の提供である。これらの行動は、GM に対して道具的支援と心理的支援の両面で重要な効果をもたらしている。

道具的支援として、右腕人材は GM の視野を広げ、専門知識や情報を提供することで、合理的かつ迅速な意思決定を可能にしている。また、GM の負担を軽減し、業務の効率化を促進する役割を果たしている。一方で、心理的支援としては、右腕人材が GM の信頼を得て意見を交わす場を提供し、経営上の孤立感を軽減していることが挙げられる。右腕人材の諫言や助言により、GM は重要な意思決定における心理的な負担を分散させ、より自信を持って事業戦略の実行にあたることが可能となっている。

本研究は、右腕人材が果たす道具的支援と心理的支援が GM の管理者行動に与える具体的な影響を明らかにした点に意義がある。右腕人材の存在は、GM が複雑な業務環境で効率的かつ効果的に役割を果たすための重要な要素であり、企業経営における GM 育成、配置、活用、ひいては会社員経営者の能力開発につながる示唆を提供するものである。

キーワード

右腕人材、会社員経営者、管理者行動、道具的支援、心理的支援

(指導教員：小川 憲彦 教授)